

国際留学生 会館から

「出会えて嬉しいです！」 ～インターシップ研修生の異文化体験～

استمتعت بالاحضار معكم
إستيمتاتواتو بيلفدور-لي مآكلم
今日は一緒にいられて
嬉しいです！
(アラビア語)

名古屋商科大学大学院マネジメント研究科
マネジメント専攻修士課程修了
ナディア・スウッシさん(チュニジア出身)



今回の記事は、昨年8月にNICで受け入れたインターンシップ研修の学生3名が取材・執筆を担当しました。チューター*のサポートのもと、在館留学生に英語で取材を行いました。取材に応じてくれたのは、昨年9月に名古屋商科大学大学院修士課程を修了したチュニジア出身のナディア・スウッシさんです。

* * *

私は2017年に来日し東京で1ヵ月ほど過ごしたのち、現在の大学院の修士課程で経営マネジメントなどを学んでいます。

日本の印象は、東京と名古屋とは少々違いがあると感じました。東京に比べて名古屋は保守的なイメージです。例えば人々の服装。東京では個性的なファッションの方が多かったのに対して、名古屋の方はほぼ同一系統のスタイルで、まるで制服のように見えました。



▲「取材を終えて打ち解けた6人」
(前列右から堀江さん、高木さん、フティランさん、後列右から北河さん、ナディアさん、安藤さん)

おそらく名古屋の慣習として、自分自身の個性を表現することが難しいのかなと思いました。

その反面、名古屋の食文化は非常に独創的で、良い意味でギャップがあります。「なごやめし」と

呼ばれている料理はどれも大変美味しく、東京ではほとんど食べることができません。特にお気に入りには味噌カツ。あの味噌の甘みは癖になります。

また、名古屋の方は大変親切です。常に私の気持ちを察してくださり、優しく温かく接して下さいます。東京に滞在したときにはそこまでの印象はありませんでした。

さらに、何より嬉しいことは夜間自由に外出できることです。諸外国でも珍しいことだと思いますし、治安が良いことは留学生をはじめとした外国出身者にとって一番安心で快適な環境だと言えます。ですから、今は名古屋の文化や生活環境が大好きで、私にとって留学先を名古屋に選んだことは大正解でした。

■取材・執筆

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 愛知県立大学外国語学部 3年生 | 堀江 菜月さん |
| 名古屋市立大学人文社会学部 1年生 | 高木 萌々佳さん |
| 日本福祉大学国際福祉開発学部 2年生 | フティランさん(ベトナム出身) |
| ■通訳補佐(チューター) | |
| 愛知県立大学看護学部 4年生 | 安藤 咲さん |
| 中京大学国際英語学部 3年生 | 北河 陽向さん |

* 留学生の日常生活について助言したり、会館の事業や運営に協力する学生

国際留学生会館とは...

NICが2001年から管理・運営している、名古屋市区にある留学生専用の宿泊施設。居室90室のほか、研修室や和室、体育室などを備え、100名の留学生が生活できる。日本文化理解講座の開催や各種相談・情報提供、地域住民との交流などを行っている。

ともくらし

このまちで、
共に暮らす
外国人たち



この地域で暮らす外国人にスポットを当てて、ご紹介するコーナーです。

将来は日米両国の架け橋に

ジェイエル・バレールさん(アメリカ出身)



現在、外務省のJETプログラム*を活用して、名古屋市役所で翻訳や通訳などを行っています。大学で医療と日本語を4年間勉強しました。なぜ日本人には長寿者が多いのか疑問を抱き、日本の医療、特に保険制度に関心を持ちました。私はアメリカで救急救命士をしていました。英語を含め5か国が話せます。英語が話せない患者に遭遇した時、相手の言葉で話すと患者の表情が明るくなりました。相手に通じる言葉でコミュニケーションをすることは、やはり大事なことだと思い、やりがいを感じました。

日本は安全で人が親切、食べ物おいしい、四季があって景色が移り変わる、そんなところが気に入っています。今住んでいる名古屋は静かな所、賑やかな所があり、公共交通機関が整備されていて便利で快適です。ただ、私は背が高い(202cm)ので、お辞儀が苦手なのと、サイズの合う服がないのがさみしいです。

英語でのイベント情報がとても少ないなか、今一番頼りにしているのはNICの情報で、たいへん役に立っています。

また地震や台風の災害情報も、外国人にとっては貴重です。将来の選択肢として、次の3つのことを考えています。

一つ目は、日本の大学、大学院で学び、医療分野で働くことです。人の体の仕組みに興味があり、人を助けたいからです。二つ目は、帰国して、外交官の仕事に就くことです。特に日米両国の文化を、それぞれに伝えたいです。三つ目は、アメリカでセミプロ選手までいったバスケットボールのプロ選手になることです。

どの道に進んでも、人とのコミュニケーションを大事にしていこうと思っています。



▲202cmのダンクシュート

*JETプログラムとは外務省、総務省、文部科学省、自治体国際化協会(クレア)の協力のもと、地方公共団体が、諸外国の若者を地方公務員等として任用し、国際交流のために働く機会を提供する事業

途上国の現場で活躍する、地域の国際協力NPO/NGOリーダーにお話を伺います。



～国際協力・インド編～

テーマ:人権

人として生きられる喜びを!

NPO法人 わびねす
代表 梶田 恵理子さん

リーダーズ・メッセージ

自分に制限をかけずに、
失敗を恐れない
家族や友人を大切に



インドのベンガル州でハンセン病患者と快復者が暮らすコロニーで活動している「わびねす」の代表、梶田さんにお話を伺いました。外交官を旨しながらも平凡な学生生活を送っていた梶田さんはある日、大学のワークキャンプサークルのキャッチフレーズのユニークさに惹かれ、同期と一緒に説明会に参加、中国でハンセン病快復村のインフラ整備、ハンセン病患者への偏見を無くすための啓発活動を行うワークキャンプに参加しました。それまでハンセン病さえ知らず、ボランティア活動にもあまり興味がなかった梶田さんは、中国の学生と共にハンセン病快復者との生活をする中で彼らとうまく打ち解けられない葛藤や慣れない生活へのいら立ちを抱えていました。思い切ってそのことを中国の学生に本音で吐露してみたところ、予想に反してしっかりと受け止めてもらえたことで、真正面から人と関わることの喜びを感じるようになりました。この経験が転機となり、その後インフラ整備、コロニー住人との交流をするワークキャンプの魅力にはまっていきました。

そして日本に帰国して、学生ボランティア団体namasteを設

立。差別がひどく新規感染者数の多いインドで活動することを決めました。namasteではワークキャンプで学生を受け入れてくれるコロニーやNGO選りから現地での活動まで自分たちで行い、その活動が現在の「わびねす」のワークキャンプ事業の前身になりました。2016年にはワークキャンプ、就労、教育・啓発事業を統括して「わびねす」を法人化しました。

ワークキャンプ事業では、奨学金プロジェクト*1を行ったり、レクリエーション、歯磨き指導の他に、ごみのポイ捨て問題の解決活動を学生主体で行っています。就労事業としてキノコ栽培、三輪バイクのレンタル、マイクロローンプロジェクト*2を行うとともに、インド・日本の社会に対してハンセン病への正しい理解を広める活動も行っています。

梶田さんは、今後、これからのインドを作る若いインド人を巻き込んで、人材の育成に取り組みたいと話してくれました。



▲キノコの収穫を祝って

*1 コロニーの子どもたちが大学へ進学するための貸与型奨学金
*2 新規起業の資金として小口で貸し出すプロジェクト

NPO法人 わびねす Web <http://wappiness.org/>
Mail info@wappiness.org

姉妹友好 都市の広場

今回は、3月に行う
イベントについてご
紹介します。



今年度、名古屋市とロサンゼルス市は姉妹都市提携60周年を迎えました。そして、来年度は名古屋市とシドニー市とは姉妹都市提携40周年、トリノ市とは15周年を迎えます。食を通じて各都市を紹介し、姉妹都市をPRするイベントを開催します。

姉妹都市提携周年記念講座 「ワインとチーズで姉妹都市を味わう」

- 日時/3月20日(金・祝)午後2:00~4:30
- 場所/ららぽーと名古屋みなとアクルス3階 ららスタジオ(名古屋市港区港明2-3-2)
- 内容
各都市にはワインという共通の名産があるため、ソムリエの島幸子さんを講師にお招きし、ロサンゼルス市のあるアメリカカリフォルニア州、シドニー市のあるオーストラリアニューサウスウェールズ州と、トリノ市のあるイタリアピエモンテ州のワインを試飲しながら、それぞれの特徴を学びます。
また、ワインに合わせて、オーストラリアとイタリアのチーズも試食します。
- 参加費/一般2,000円、会員1,000円
※当日の入会(右記)も可能です。

- 定員/50名(20歳以上対象。申込者多数の場合は抽選。)
- 申込方法/名古屋姉妹友好都市協会ウェブサイト(<http://www.nasca.gr.jp/>)よりご確認ください。
- 申込締切/2月21日(金)必着

名古屋姉妹友好都市協会では、随時会員を募集しております。名古屋市の姉妹友好都市(ロサンゼルス市・メキシコ市・南京市・シドニー市・トリノ市・ランス市)関連のイベント情報が届くほか、会員限定のイベントにもご参加いただけます。また、一般市民向けのイベントに会員料金でご参加いただけます。

- 個人会員/年額(4月~3月)1口 3,000円
- 学生会員/年額(4月~3月)1口 1,000円
※下半期(10/1~)に入会の場合は3月までの会費として半額となります。

詳しくは事務局までお問い合わせください。姉妹友好都市交流にご関心をお持ちの方々のご入会をお待ちしています!



名古屋姉妹友好都市協会の公式ウェブサイト・フェイスブックでは、姉妹友好都市にちなんだイベント情報などを発信しています。

ぜひご覧ください。

Web <http://nsca.gr.jp/> Facebook [nagoya.sistercities](https://www.facebook.com/nagoya.sistercities) 検索